

| 科目            | 単位   | 時間            | 履修学年 | 講師名 |
|---------------|--|---------------|------|-----|
| 老年看護援助論Ⅲ      | 1  | 30            | 2    |     |
| ねらい           | 老年期にある対象の健康問題に対して、模擬患者の看護計画を作成し、看護の実際を体験する   |               |      |     |
| 回数            | 授業内容   | 授業方法          |      |     |
| 1回目           | 1. 看護過程の展開<br>1) 事例紹介:脳血管疾患を抱えた大腿骨頸部骨折術後の高齢者   | 講義・個人ワーク      |      |     |
| 2回目           | 2) 全体像   | 講義・個人ワーク      |      |     |
| 3回目           | 3) 情報の分析・解釈、仮診断  | 講義・個人ワーク      |      |     |
| 4回目           | 健康障害をもった高齢者を理解する情報整理とアセスメント  | 講義・個人ワーク      |      |     |
| 5回目           | 4) 関連図、問題リスト<br>・問題点と関連因子について  | 講義・個人ワーク      |      |     |
| 6回目           | 5) 本診断<br>・#の優先順位について  | 講義・個人ワーク      |      |     |
| 7回目           | 6) 看護目標の設定<br>・目標志向型思考   | 講義・個人ワーク      |      |     |
| 8回目           | ・長期・短期目標   | 講義・個人ワーク      |      |     |
| 9回目           | 7) 看護計画  | 講義・個人ワーク      |      |     |
| 10回目          | ・個別性を考える   | 講義・グループワーク    |      |     |
| 11回目          | 2. 健康障害と加齢現象を考えた援助 (計画)  | グループワーク (実習室) |      |     |
| 12回目          | 1) リハビリ期にある看護<br>2) 安全・安楽・自立を考えた日常生活の援助  | グループワーク (実習室) |      |     |
| 13回目          | 2. 健康障害と加齢現象を考えた援助 (実践)  | グループワーク (実習室) |      |     |
| 14回目          | 1) リハビリ期にある看護<br>2) 安全・安楽・自立を考えた日常生活の援助  | グループワーク (実習室) |      |     |
| 15回目<br>(45分) | まとめ  |               |      |     |
| テキスト          | 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 (医学書院)   |               |      |     |
| 評価方法          | ・看護過程、グループワーク:100点   |               |      |     |
| 備考            | 高齢者看護の特徴と看護過程の展開について、復習して臨んでください。<br>解剖生理の知識、加齢による身体的変化の特徴や、リハビリテーション期に必要な看護など、様々な既習知識を活用し、看護過程の展開と対象に合わせた日常生活援助の技術演習を行います。領域別実習に向けて、主体的に学習していきましょう。 |               |      |     |